

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
・理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所理念を掲げて共有し、実践につなげています	詰所に理念が掲示され、日常生活の中で理念が実践されるように努力されています。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域行事の参加はしているが日常的には散歩時の挨拶程度行っている。	地域の行事にも参加、日常の散歩時に挨拶を交わし地域との関係を築いて行く努力をされています。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	訪問や電話での相談には行っているが、活動としては行っていない。		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ホームの運営報告を行い、参加者の皆様からご意見を頂きサービス向上に生かしている。	2ヶ月に1回開催、自治会や行政機関や理事長も参加され報告、検討が行われていますが、利用者、家族の参加には至っていません。	運営推進会議の目的に、ご理解いただいたうえで、利用者、家族の参加について可能な範囲から進められてはいかげでしょうか。
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら協力関係を築くように取り組んでいる。	連絡を取り合い協力関係をきずいています。	常に何かあれば連絡をして交流、連携に努められています。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる	年1回身体拘束について研修を行っています。エレベーターに関しては施錠していますが希望時は付き添いにて対応しています。	エレベーターは施錠されていますが自由にベランダに出入りが出来、希望があれば付き添って外出をしたりと工夫されています。	
7		虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所ないでの虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	年一回の研修を行っています。		

8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>年一回の研修を行っています。</p>		
9	<p>契約に関する説明と納得 契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>家族差もにもご協力頂いて十分に時間を取り説明を行っている。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時は必ず家族様との会話の時間を設け運営に反映させている。玄関には意見箱も設置している。</p>	<p>面会時に、家族との会話より意見を聞き運営に反映させるよう努力をされています。また玄関前には、意見箱も設置されています。</p>
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを反映させている</p>	<p>月一回の職員会議にて意見を出し合い合意の上で反映させている。</p>	<p>管理者とは、日頃から会議などで意見を出し合う場合があります。また年に一度、理事長との個別面談が行われ意見に耳を傾けて運営に反映される努力をされています</p>
12		<p>就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>定期的に個別面接を行い本人の状態を把握している。また職場環境についても整備を進めている。</p>	
13		<p>職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>月一回の研修を行っている。</p>	
14		<p>同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>西区グループホームの管理者が集まる連絡会議に参加し、交流する機会を設けている。</p>	

安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15	<p>初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>利用開始事前面談の機会を設け不安なことや要望などを伺っている。</p>		
16	<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>利用開始事前面談の機会を設け不安なことや要望などを伺っている。</p>		
17	<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>利用開始事前面談の際に何が必要かを考え、他のサービスを含めた相談を行っている。</p>		
18	<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>利用者様とのコミュニケーションを重んじ、楽しく生活できる環境をお互いに話しながら工夫している。</p>		
19	<p>本人と共に過ごし支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>面会時を含め、家族様との会話を重んじ、現在の本人様の状況をお伝えしながら支援の工夫を相談している。</p>		
20	<p>8 馴染みの人や場と関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>家族の面会だけでなく、友人様の面会も多く、絆が途切れないよう努めている。</p>	<p>家族の協力も得ながら友人の面会やなじみの場所への外出にも取り組まれています。</p>	
21	<p>利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者様同士のコミュニケーションの場を工夫し、時には職員が会話に入るなど支援している。</p>		
22	<p>関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>退所時になんでも相談して下さいとお伝えしており、相談があれば対応している。</p>		

その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	<p>思いやり意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>本人様・家族様のご意見を取り入れ、本人様の立場になって生活環境の工夫に努めている。</p>	<p>本人の思いや、意向を尊重した生活環境に取り組みれています。</p>	
24		<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める</p>	<p>本人様・家族様から入居後も生活環境や性格などを伺い、把握に努めている。</p>		
25		<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>介護日誌を通じ、一人一人の生活状況の把握に努めている。</p>		
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>担当者会議を通じ、家族様・本人様のご意見を参考に介護計画を作成し、実施している。</p>	<p>職員間で会議を開催、本人、家族の意向を含めた介護計画作成に取り組まれています。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>ケアプラン実施計画書を作成し、1か月に1回の見直しを含め実施状況の把握に努めている。また、朝礼にて情報交換も行い、担当者会議にて介護計画書の見直しにも行っている。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>その都度生まれるニーズに対し、本人様、家族様の要望に可能な限り応えるようにしている。</p>		
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域資源や情報は常に最新のものを把握するよう心掛け支援している。</p>		

30	11	<p>かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>協力医療機関との関係は築けており、主治医と密に情報交換を行って健康管理に努めている。</p>	<p>協力医療機関と情報交換を密に取っており健康管理に努めています。また、以前のかかりつけ医にも受診等の通院介助も行い、状況に応じて対応されています。</p>	
31		<p>看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している</p>	<p>訪問看護との関係は築けており、密に情報交換を行い健康管理に努めている。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院した際は安心して治療できるよう介護サマリーを提出し病院側の相談員と連絡を密にして早期退院に向け連絡相談を行っている</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時に指針を説明し利用に際しての了承を得ている。</p>	<p>入居時に指針についての説明を行い、対応し得る最大のケアについて話されました。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時の対応についてホーム内研修を行っており実践力を強化している。</p>		
35	13	<p>災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の火災訓練を想定した避難訓練を行っている。緊急時のご協力も地域の方にご協力を依頼している。</p>	<p>消防署の立会いのものと、訓練を実施し、また自治会長とも協力体制を築いており、備蓄等も準備されていました。</p>	

・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員全員に人格の尊重、プライバシーの確保は徹底させている。	年一回、プライバシーについての研修を行っており、常に利用者の気持ちを大切に考えておられました。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	あらゆる場面で選択肢を提供し、自己決定して頂ける場면을支援している。(お誕生会の希望、外出、入浴、飲み物等)		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人様のペースに合わせた生活環境の工夫を行っている。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	服の選択や個人的な化粧品等本人様と話ししながら支援している。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様と一緒に調理・盛り付け・準備・後片付けを行っている。	利用者と一緒に調理・盛り付けなどを行い、役割を持って頂ける様支援し、また、外食にも行かれるなど食事を楽しめる雰囲気作りをされています。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、集会に応じた支援をしている	栄養バランスに関しては連携施設の栄養士に協力頂き提供している。また、食事量・水分量は毎日チェックし状態観察に努めている。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯科往診にて協力し実施している。		

43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄管理を行うことで一人ひとりの排泄状況を把握し、自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>24hシートにて利用者一人ひとりの排泄状況を把握し、自立に向けた支援をされていました。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>適度な運動・水分摂取の把握に努め散歩や室内運動により適度な運動も提供している。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>適度な運動・水分摂取の把握に努め散歩や室内運動により適度な運動も提供している。</p>	<p>利用者の体調や希望に応じて変更も可能であり、また浴槽も二つのタイプがあり入浴を楽しめるよう支援しています。</p>	
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>本人様のペースに合わせた睡眠をとって頂いている。（寝る時間・寝る形等）</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や要領について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>医師・看護師・薬剤師と連携し支援している。</p>		
48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>季節を大切にしたりした行事を月1回行っている。日常生活でも役割を持って頂けるよう支援している。</p>		

49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している</p>	<p>本人様の希望に沿って外出を行っている。また、行事にも利用者様の希望を聞いた外出も企画している。</p>	<p>近くの公園には日常的に散歩に行かれ、また近隣のスーパーにも買物に行かれるなど、積極的に支援されています。</p>	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>本人様ご希望時は家人様のご協力を頂いて実施している。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人様ご希望時実施している。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>生活感や季節感を取り入れ居心地よく過ごして頂いている。</p>	<p>窓が大きく開放的で明るい共有空間になっており、犬や熱帯魚が飼育され利用者が大切に居心地良く過ごせるよう支援されていました。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>各階には談話のできるリビング、1階にも談話のできる空間をつくり、玄関にはベンチもご用意している</p>		
54	20	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時、利用時に本人様馴染みのものがあれば家人様にご協力頂き持参して頂いている。</p>	<p>居室が畳であり、直接布団を敷く方も居られ、以前の生活環境とあまり変化することなく、馴染みの物も持ち込まれ居心地の良い居室でした。</p>	
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>本人様のできることを見出し、本人様の役割を持って頂ける環境づくりを工夫している。</p>		

アウトカム項目		
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<p>ほぼ全ての利用者の 利用者の3分の2くらいの 利用者の3分の1くらいの ほとんど掴んでいない</p>
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<p>毎日ある 数日に1回ある たまにある ほとんどない</p>
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<p>ほぼ全ての利用者が 利用者の3分の2くらいが 利用者の3分の1くらいが ほとんどいない</p>
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<p>ほぼ全ての利用者が 利用者の3分の2くらいが 利用者の3分の1くらいが ほとんどいない</p>
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<p>ほぼ全ての利用者が 利用者の3分の2くらいが 利用者の3分の1くらいが ほとんどいない</p>
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<p>ほぼ全ての利用者が 利用者の3分の2くらいが 利用者の3分の1くらいが ほとんどいない</p>
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている	<p>ほぼ全ての利用者が 利用者の3分の2くらいが 利用者の3分の1くらいが ほとんどいない</p>
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており信頼関係ができています	<p>ほぼ全ての利用者と 利用者の3分の2くらいと 利用者の3分の1くらいと ほとんどできていない</p>
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	<p>ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどいない</p>

65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている		大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くない
66	職員は生き生きと働いている		ほぼ全ての職員が 職員の3分の2くらいが 職員の3分の1くらいが ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		ほぼ全ての利用者が 利用者の3分の2くらいが 利用者の3分の1くらいが ほとんどいない
68	職員からみて利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		ほぼ全ての家族が 家族の3分の2くらいが 家族の3分の1くらいが ほとんどできていない